

株式会社 トリケミカル研究所

第35期(2013年1月期)

決算説明資料

大阪証券取引所JASDAQ市場
証券コード: 4369

2013.3

1.2013年1月期業績

2013年1月期業績の概要

単位:百万円

	12.1期	13.1期	増減額	増減率
売上高	4,002	3,217	-784	-19.6%
営業利益	324	39	-284	-87.8%
経常利益	290	60	-229	-79.0%
当期純利益	175	15	-159	-91.1%

半導体・太陽電池業界の低迷を受け
売上・利益ともに前年を大きく下回る

財政状態の概要(貸借対照表)

単位:百万円

	12.1期末	13.1期末	増減額
流動資産	2,207	2,227	20
固定資産	2,091	1,976	-115
資産合計	4,298	4,203	-95
流動負債	1,545	1,425	-120
固定負債	335	370	35
負債合計	1,881	1,795	-85
株主資本	2,428	2,408	-20
評価・換算差額等	-11	-0	10
純資産合計	2,417	2,407	-9
負債純資産合計	4,298	4,203	-95

主な増減要因

流動資産	現預金の増加	+73	流動負債	仕入の減少による買掛金の減少	-98
	受取手形・売掛金の減少	-84		減益による未払法人税等の減少	-120
	未収還付法人税等の増加	+43		一年内長期借入金の増加	+56
固定資産	償却進行による有形固定資産の減少	-112		未払い債務等の増加	+41
	子会社清算による投資その他の資産の減少	-10	固定負債	長期借入金の増加	+35
			純資産	純利益計上による利益剰余金の増加	+15
				配当金支払による利益剰余金の減少	-35

財政状態の概要(キャッシュ・フロー)

単位：百万円

	13.1期
営業活動による キャッシュ・フロー	164
投資活動による キャッシュ・フロー	-140
財務活動による キャッシュ・フロー	49
現金及び現金同等物の 増減額	73
現金及び現金同等物の 期末残高	678

CFの状況

営業CF

税前純利益計上	+33
減価償却費計上	+268
売上債権の減少	+84
法人税等の支払	-190

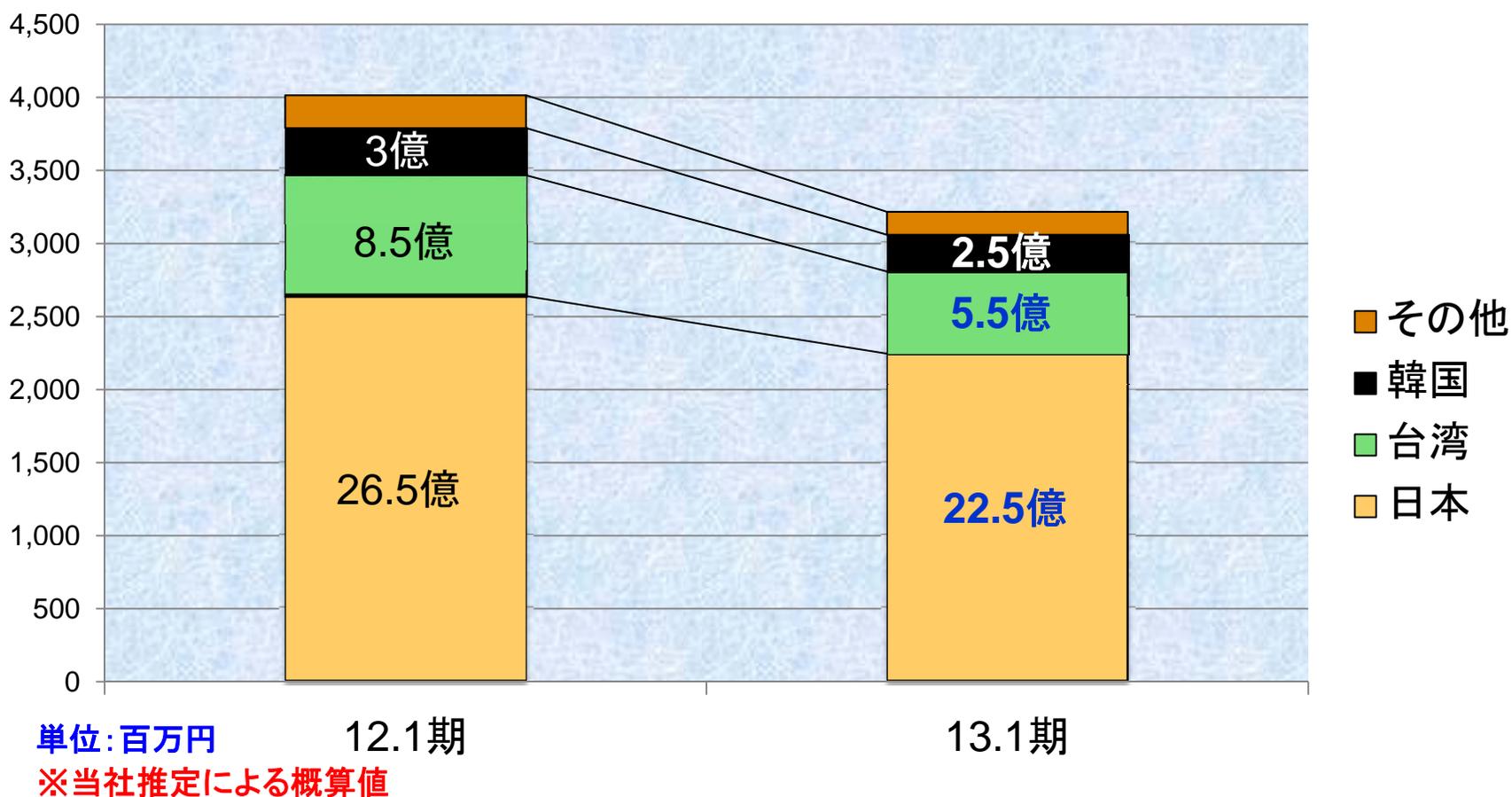
投資CF

有形固定資産の取得	-179
子会社清算による収入	+40

財務CF

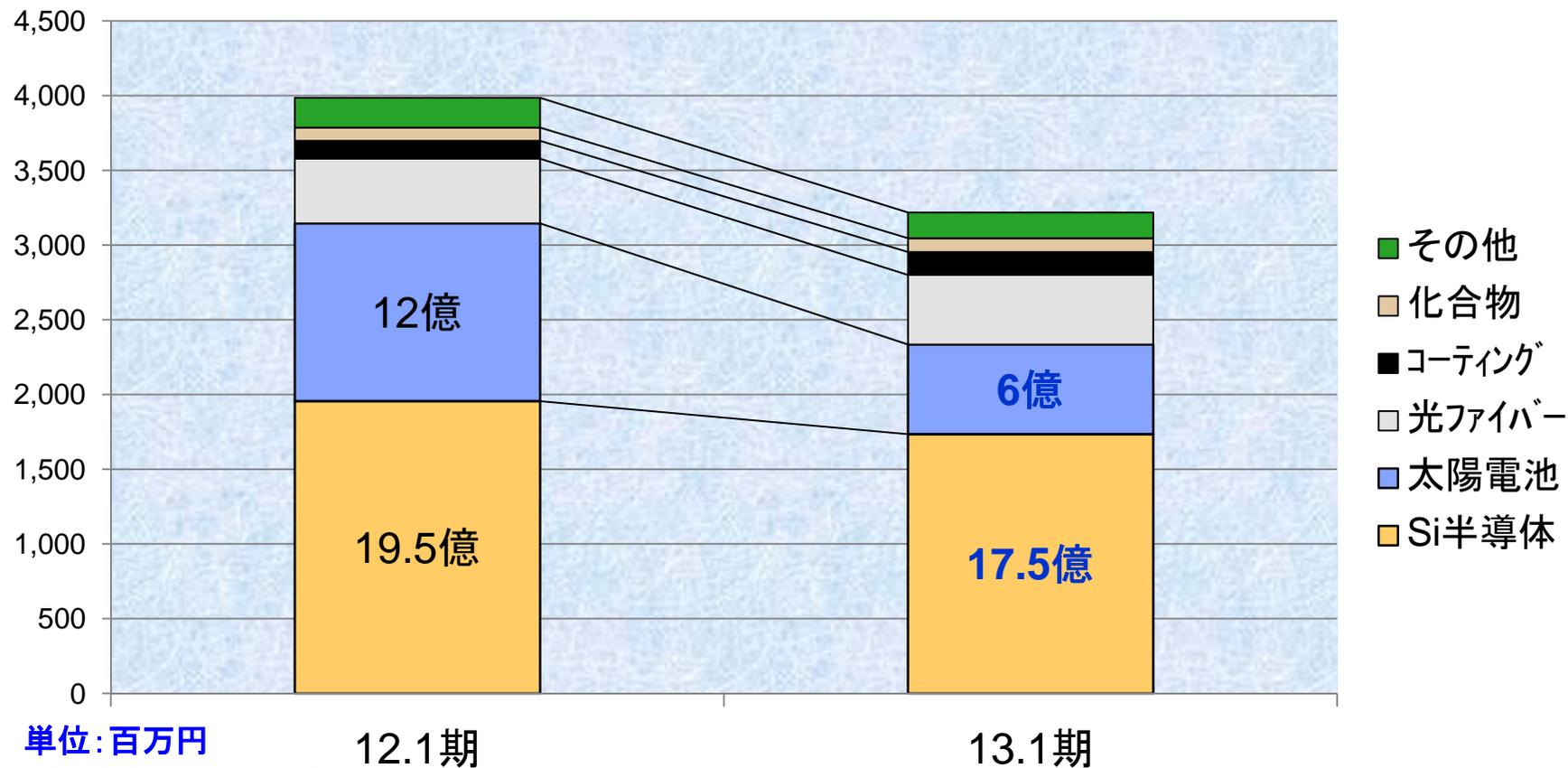
長期借入金調達・返済	+92
配当金支払	-35

売上分析(ユーザー地域別)



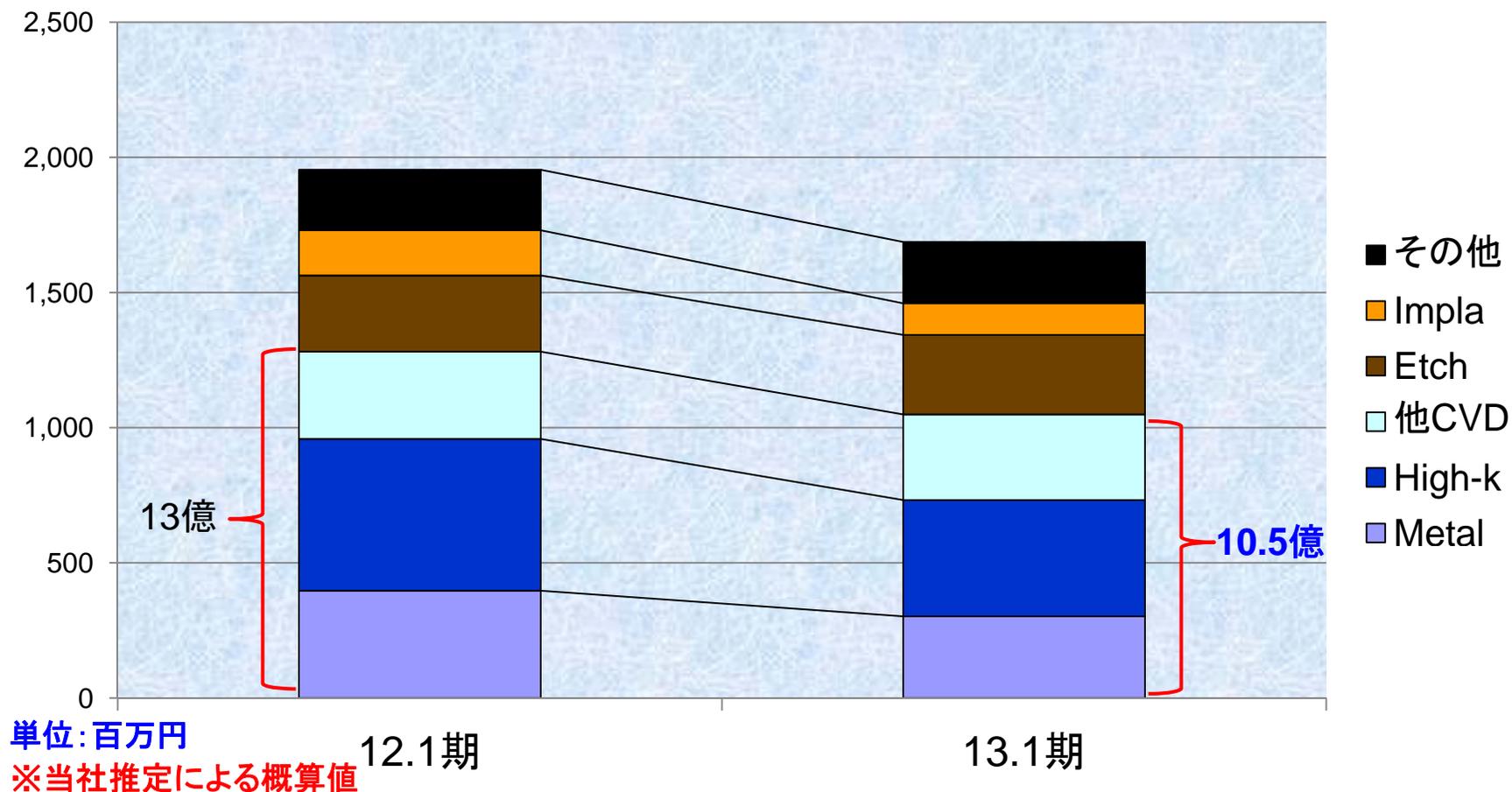
！ 日本・台湾の落ち込みが顕著

売上分析(製品用途別)



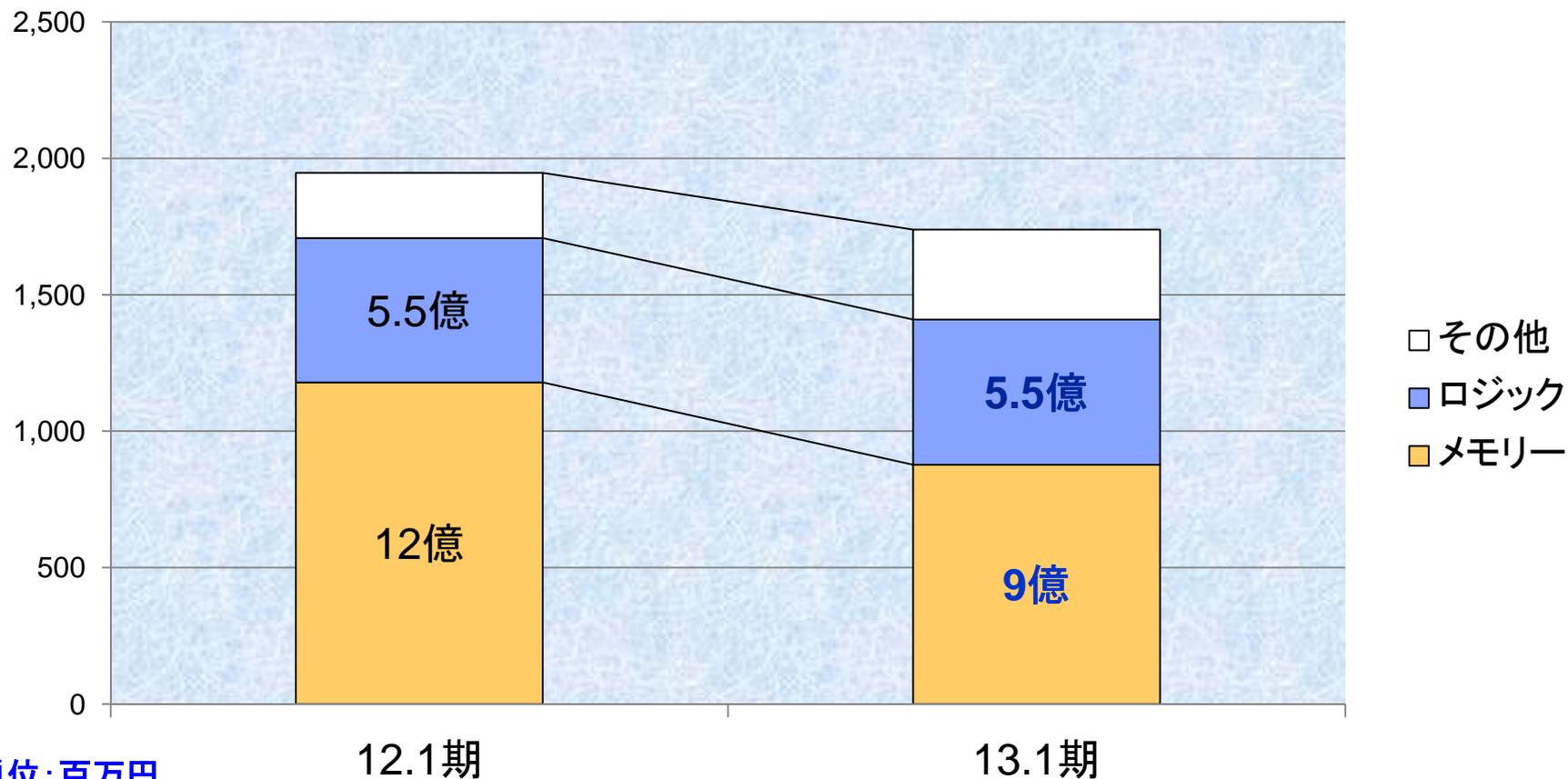
！ 太陽電池向け材料が半減
！ Si半導体向け材料も前期比約1割減少

売上分析(Si半導体)



! CVD系材料の落ち込みが顕著

売上分析(半導体向け先別)



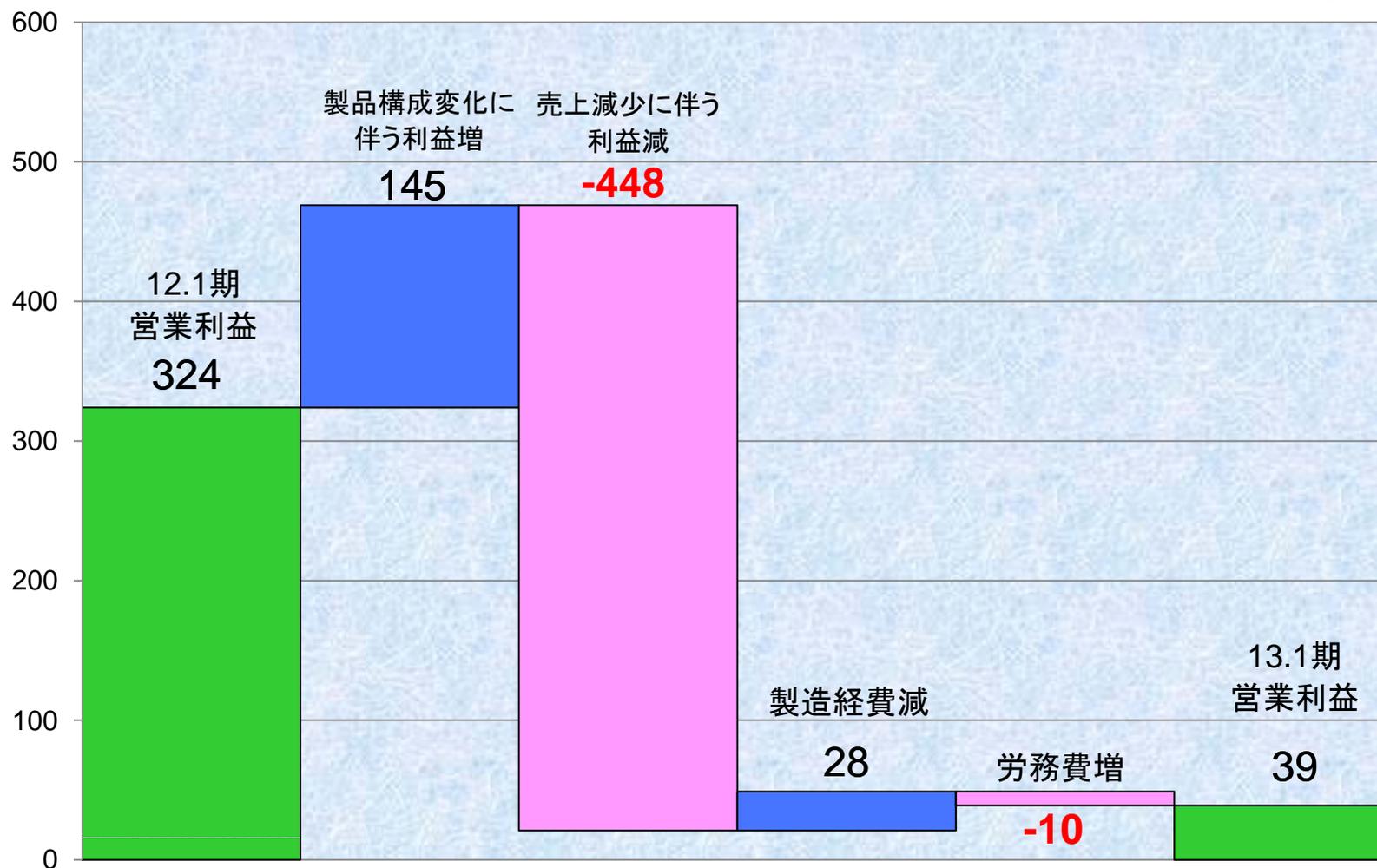
単位:百万円

※当社推定による概算値

！メモリー向け出荷の落ち込み

2013年1月期営業利益増減要因

単位：百万円



2. 2014年1月期業績計画

2014年1月期 通期戦略

外部環境

- 半導体・太陽電池業界ともに徐々に持ち直し
- 光ファイバーは引き続き堅調に推移

今期の取り組み・施策

1. 売上高増加に向けての取り組み

- 太陽電池向け材料の販売拡充
- 東アジアを中心とした積極的な海外展開

2. 中長期的成長に向けての社内体制構築

- 製品の入れ替わり、将来の成長に備えた
 - 次世代半導体向け材料の開発・生産体制の再構築

2014年1月期業績予想

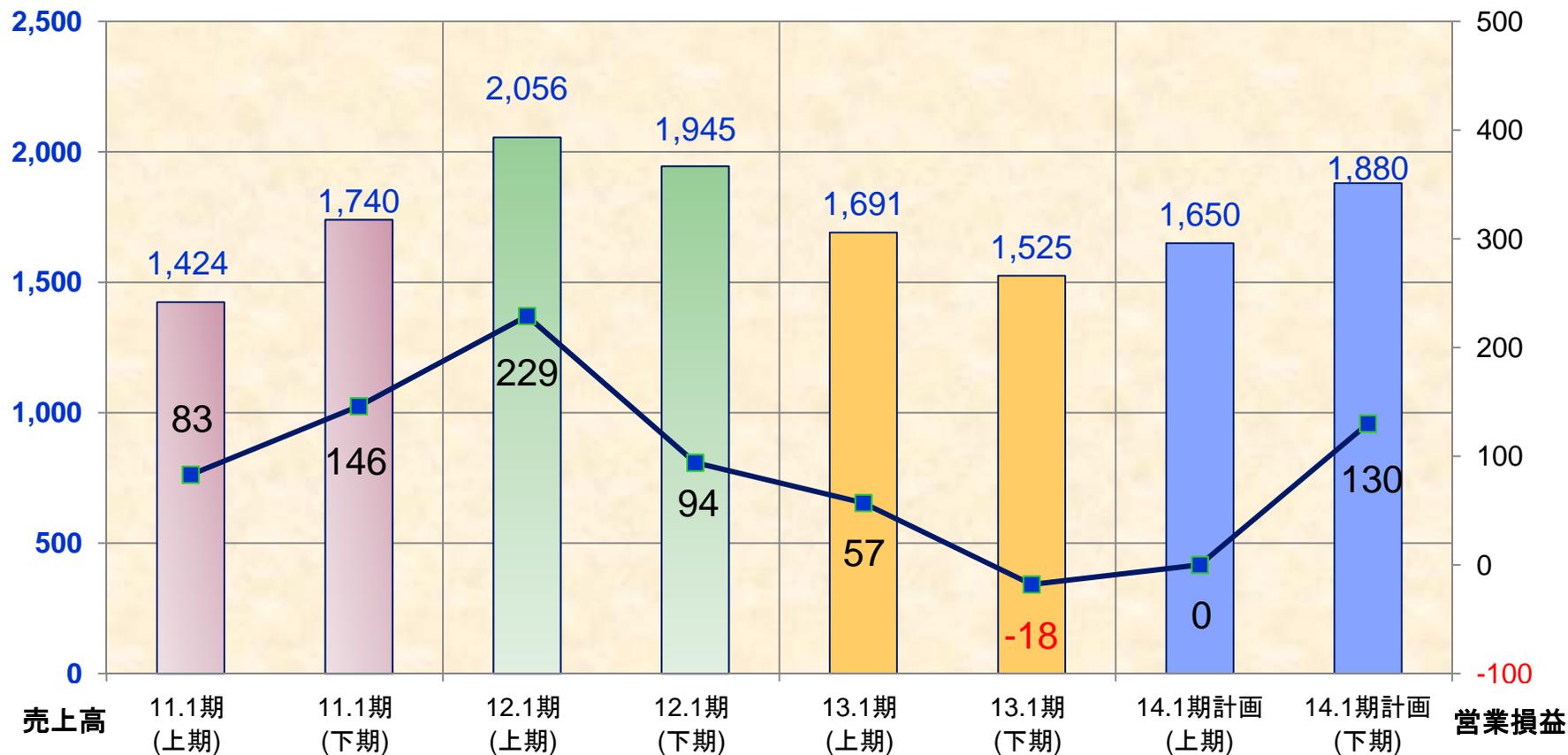
単位:百万円

	13.1期	14.1期計画	増減率
売上高	3,217	3,530	9.7%
営業利益	39	130	228.7%
経常利益	60	116	90.8%
当期純利益	15	66	322.4%

！売上は年度後半に向けて徐々に回復を見込む
！利益面は売上の回復を受けて大幅増

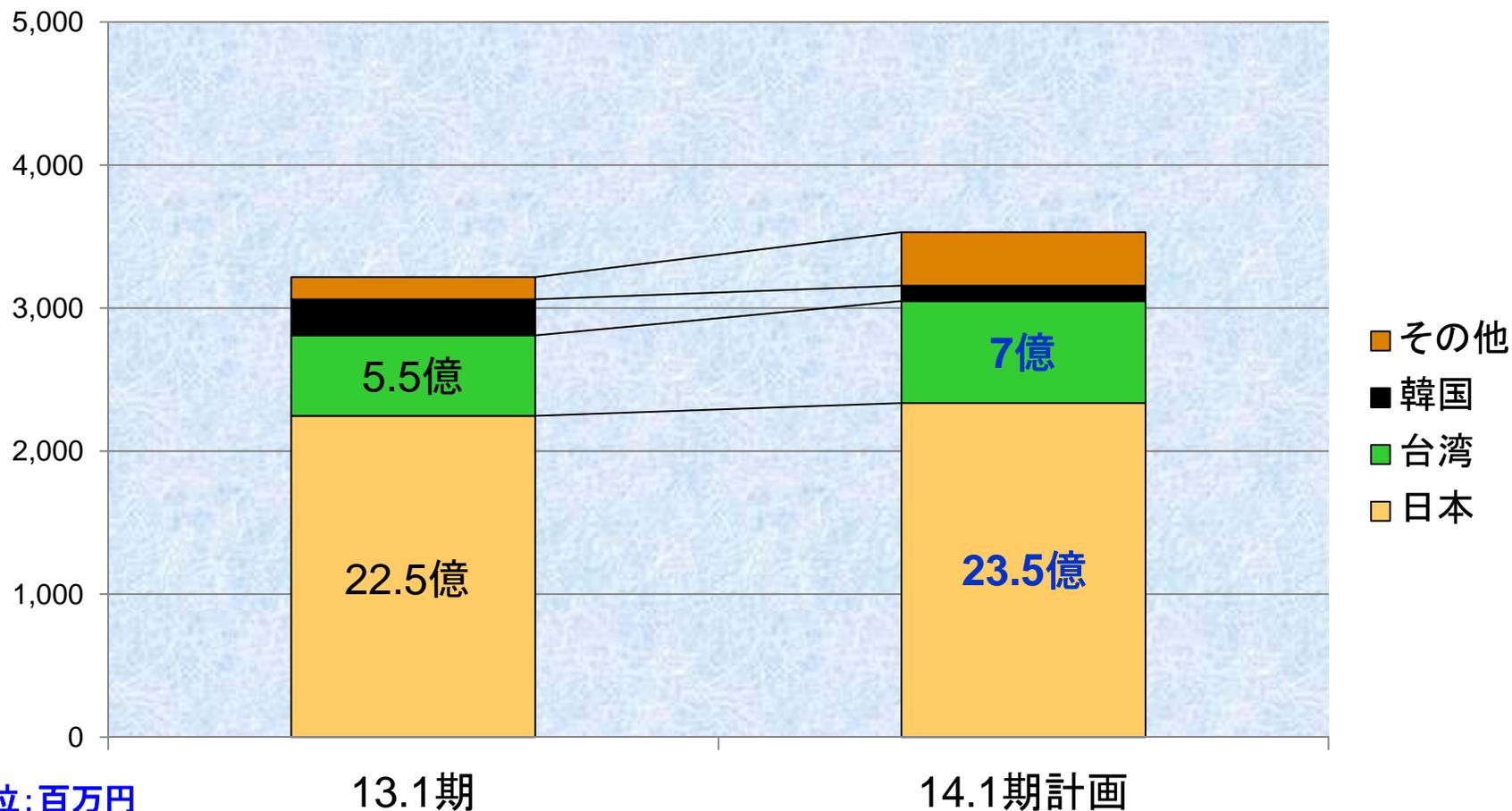
業績の推移 (半期毎)

単位:百万円



！ 14.1期は売上・利益とも年度の後半にかけ回復

2014年1月期売上分析(ユーザー地域別)

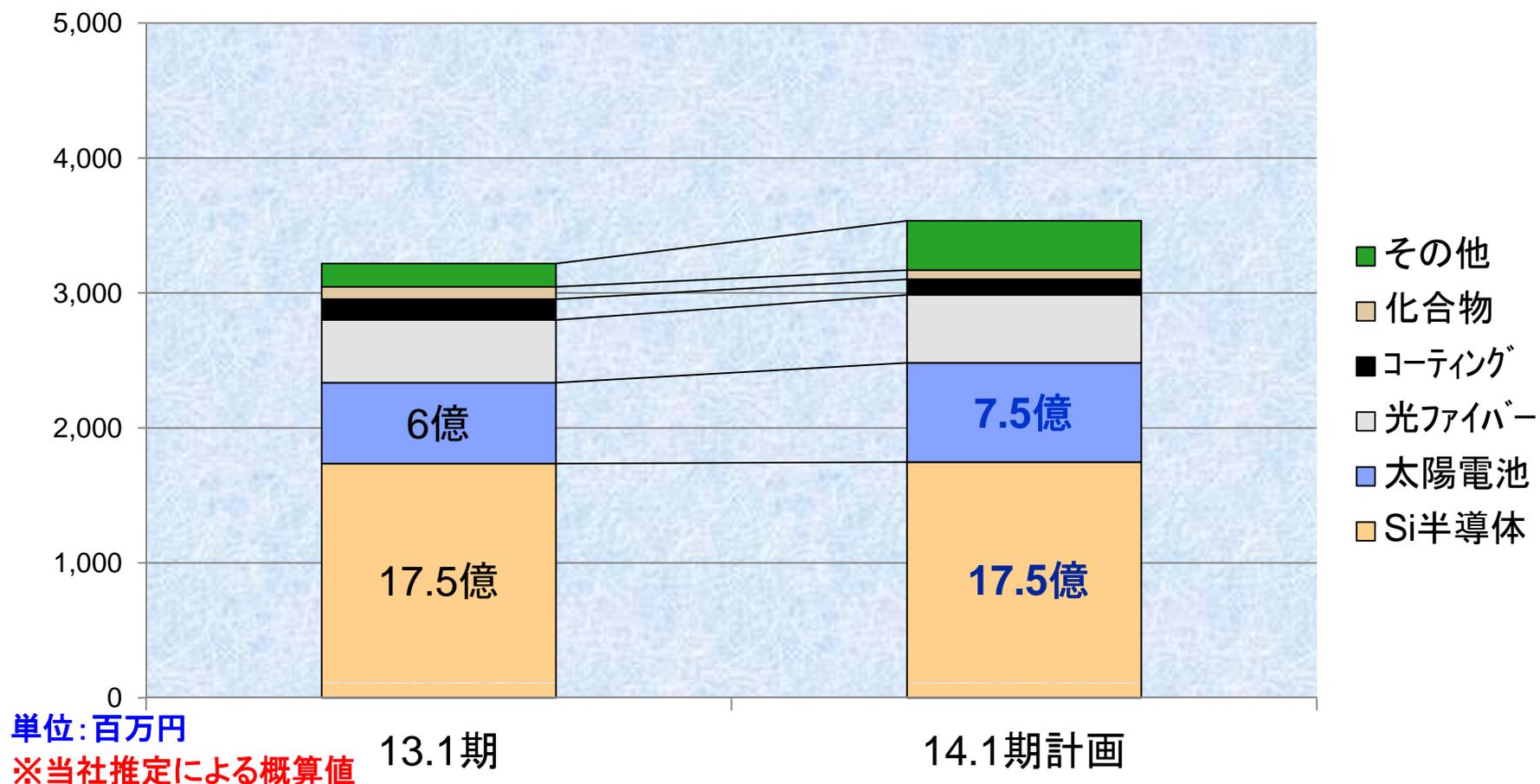


単位: 百万円

※当社推定による概算値

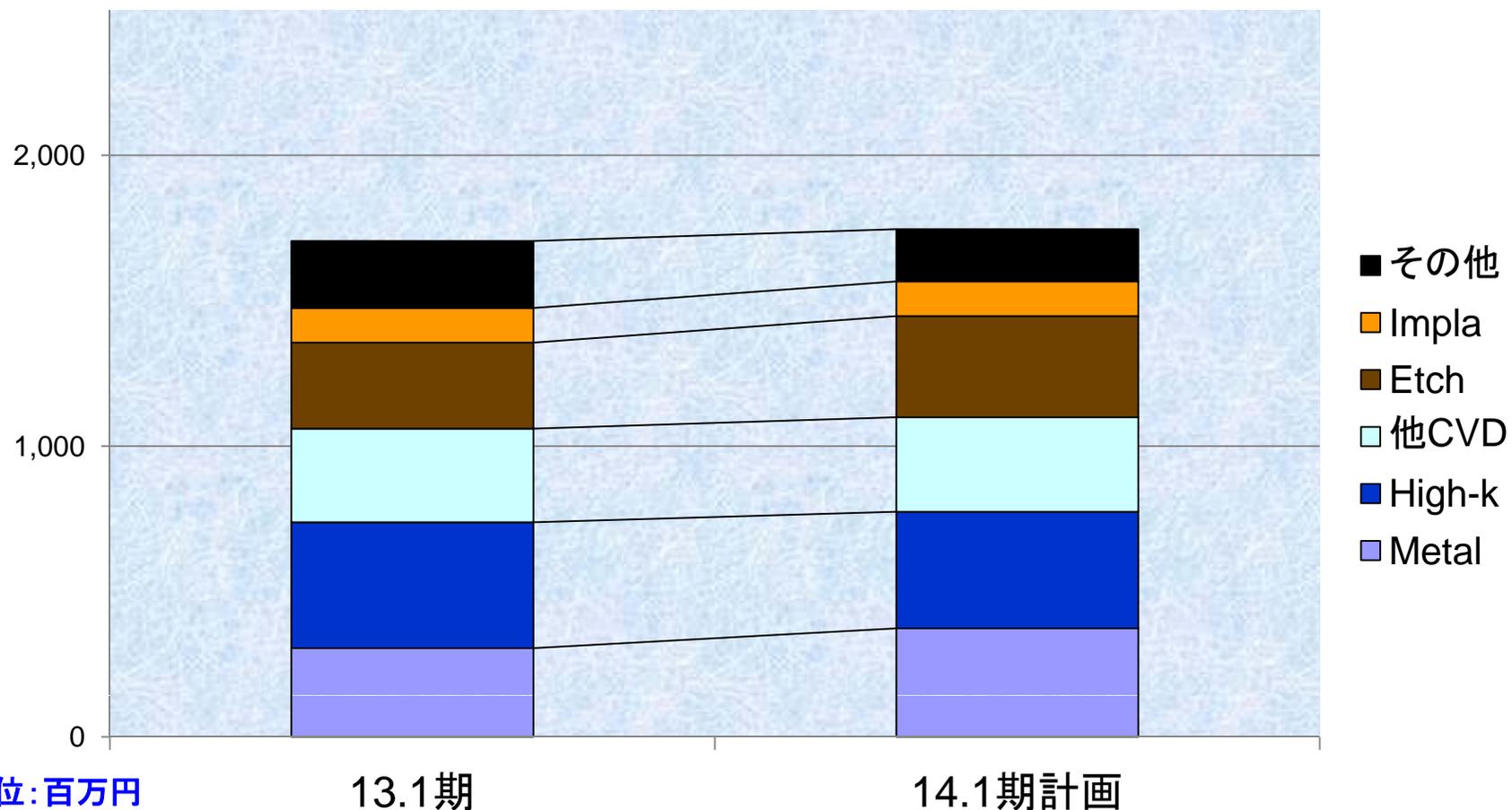
!国内・台湾向け売上の回復

2014年1月期売上分析(製品用途別)



！ 太陽電池向け材料売上の回復
！ 半導体向け材料売上は13.1期並みで推移

2014年1月期売上分析(Si半導体)

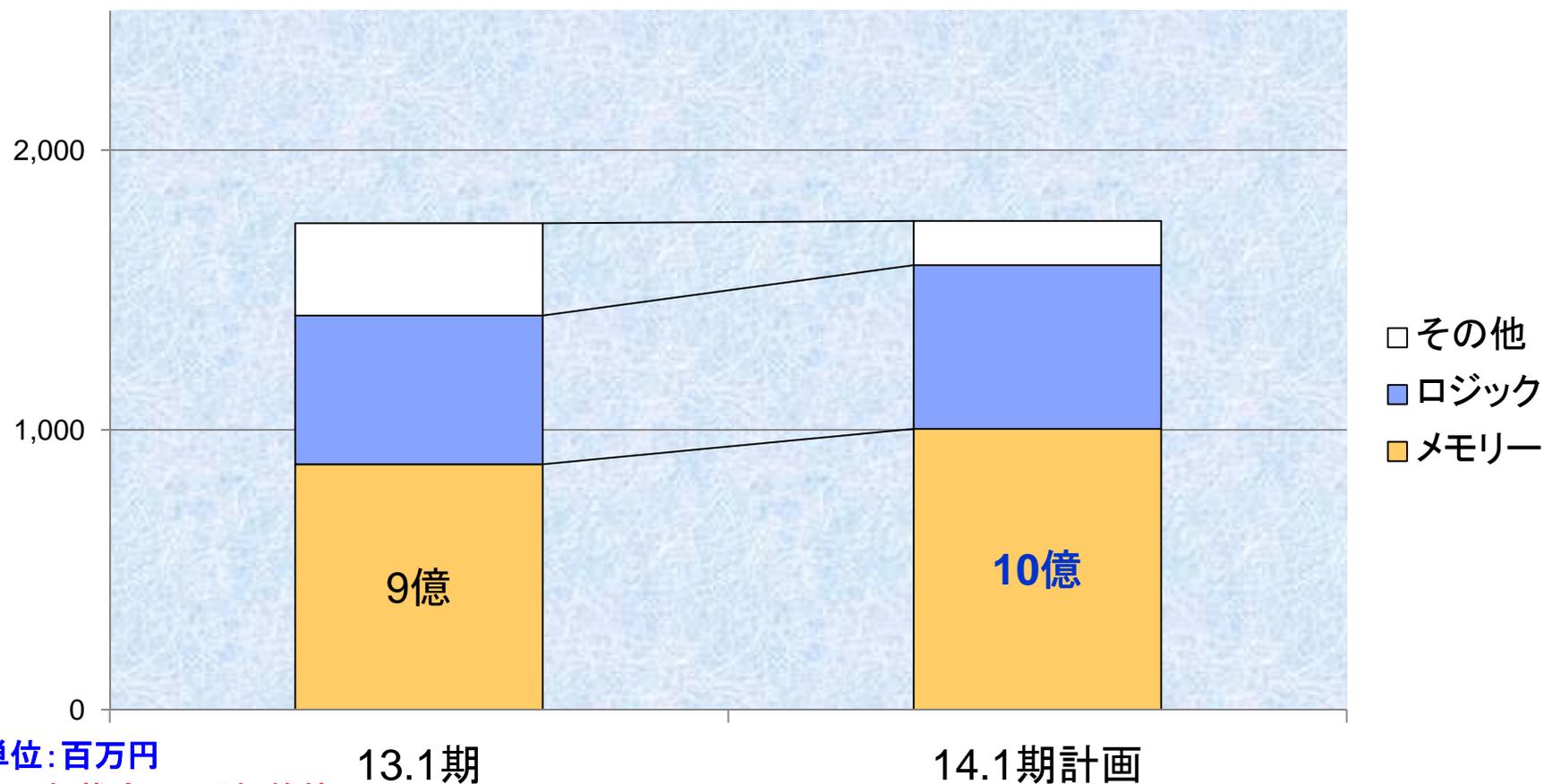


単位:百万円

※当社推定による概算値

！ 大幅な増減は無し

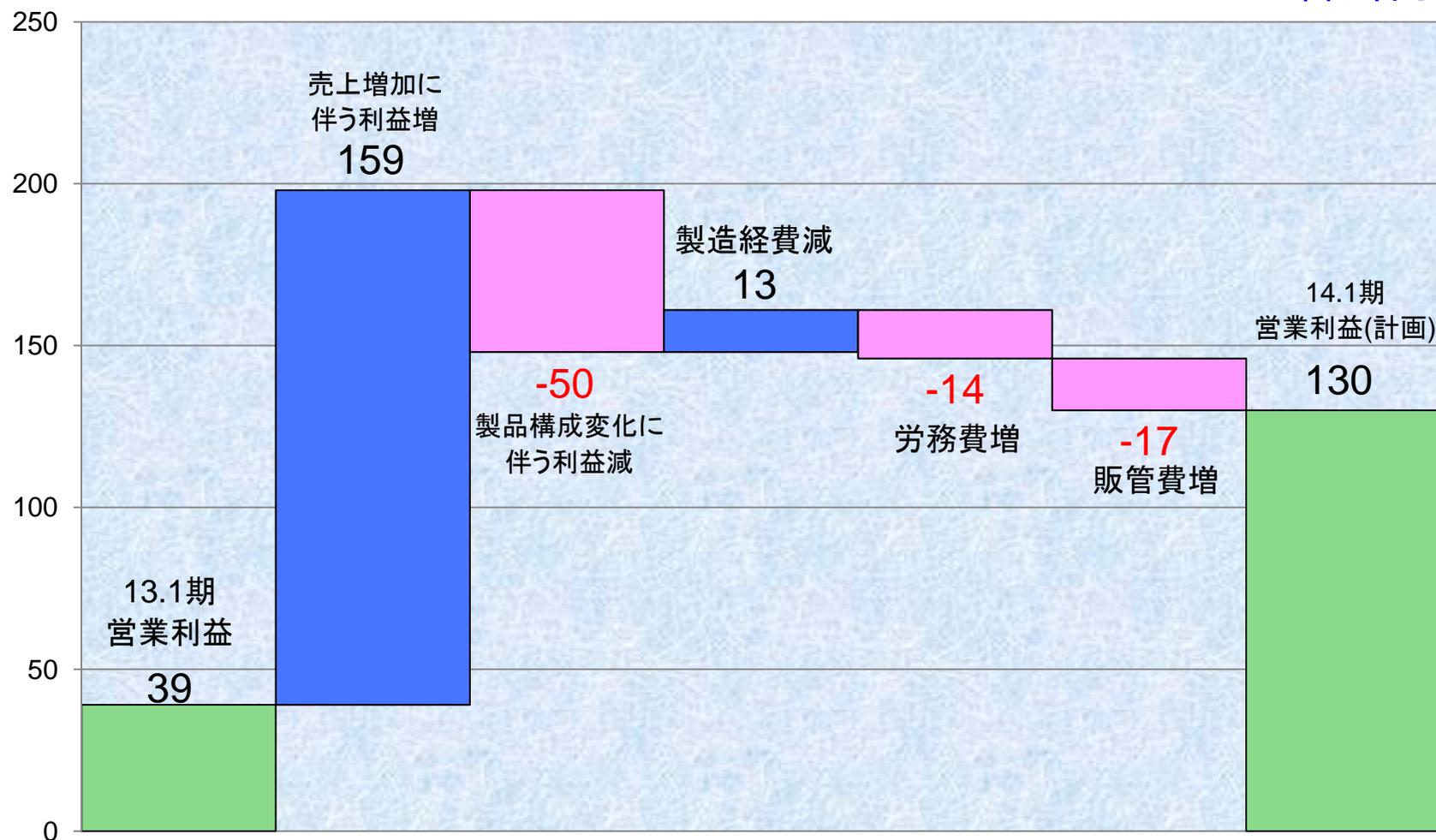
2014年1月期売上分析(半導体向け先別)



！メモリー向け若干回復
！ロジック向け売上はほぼ前期並み

2014年1月期営業利益増減要因

単位：百万円



3. 中期経営計画

中期経営計画の前提

1. 為替は88円/米ドルを中心に推移

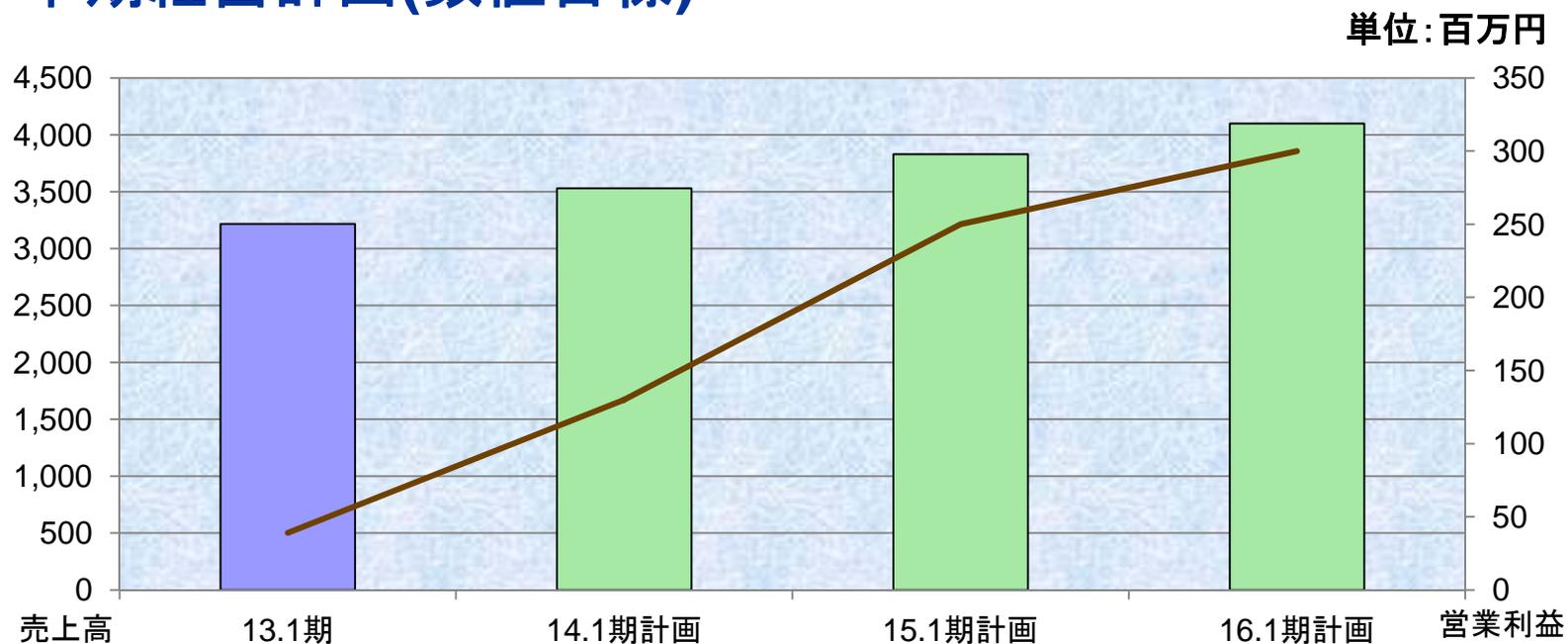
2. 予測される販売価格の変動は織り込み済み

3. 設備投資計画及び償却費推移(概算額・百万円)

	14.1期	15.1期	16.1期
投資総額	270	260	210
償却費総額	260	250	250

4. 増員計画 各期とも数名程度の増員を見込む

中期経営計画(数値目標)



	13.1期実績	14.1期計画	15.1期計画	16.1期計画
売上高	3,217	3,530	3,830	4,100
営業利益	39	130	250	300
経常利益	60	116	236	286
純利益	15	66	140	170

中期経営計画：達成に向けての課題

1. 市場環境への対応

- 太陽電池材料は新規開拓・新規材料の売上増等により回復を目論む
- 半導体市場へ向けた製品入れ替わりへの対応
- 中国を中心とした東アジア向けの販売体制確立

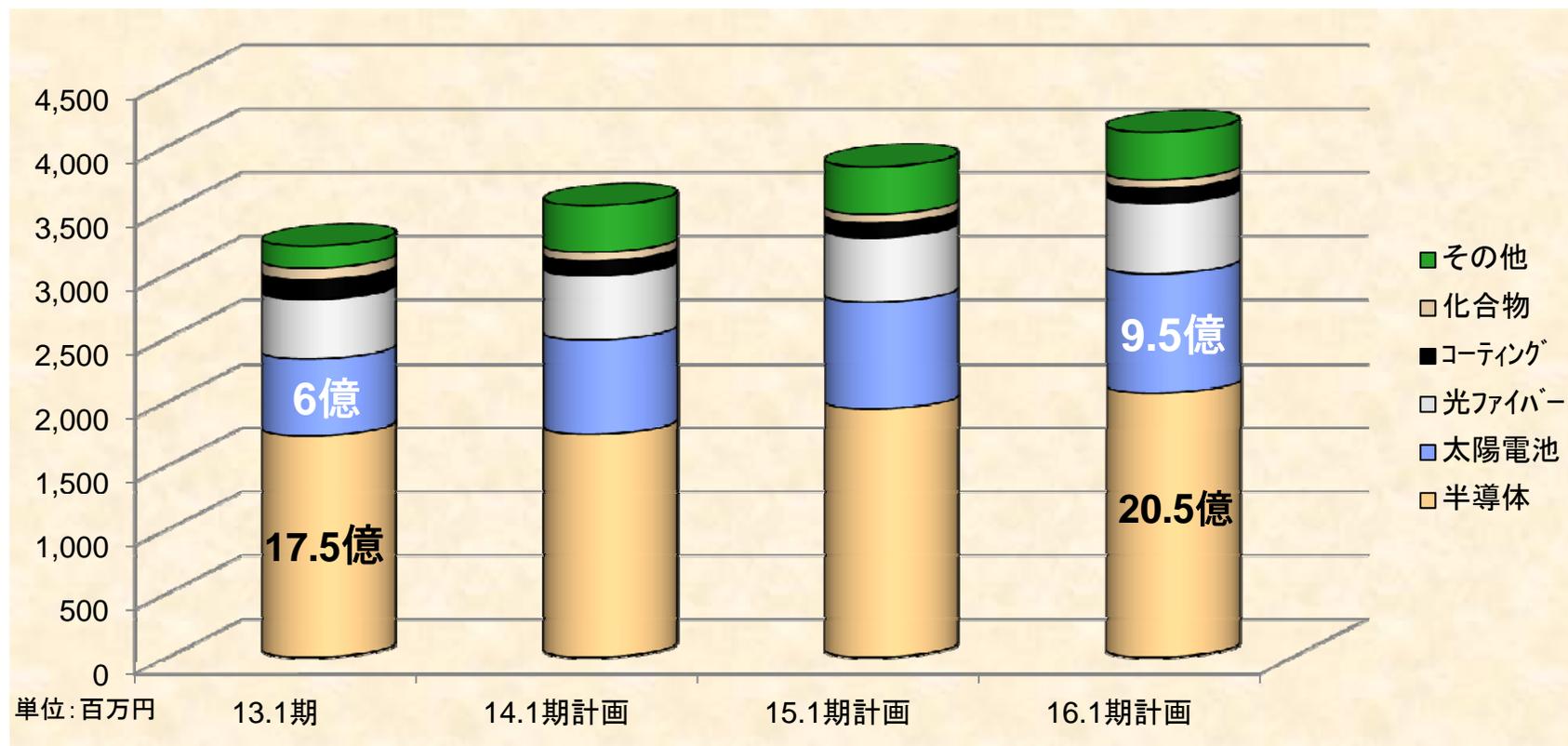
2. 開発・生産体制の整備

- 開発・生産及び品質保証体制の見直し
- 中長期的な製品の入れ替わり、大量化に対応するための設備等の強化

中期経営計画重点戦略：製品戦略

新規半導体向け材料の拡販と
太陽電池向け材料の回復を目論む

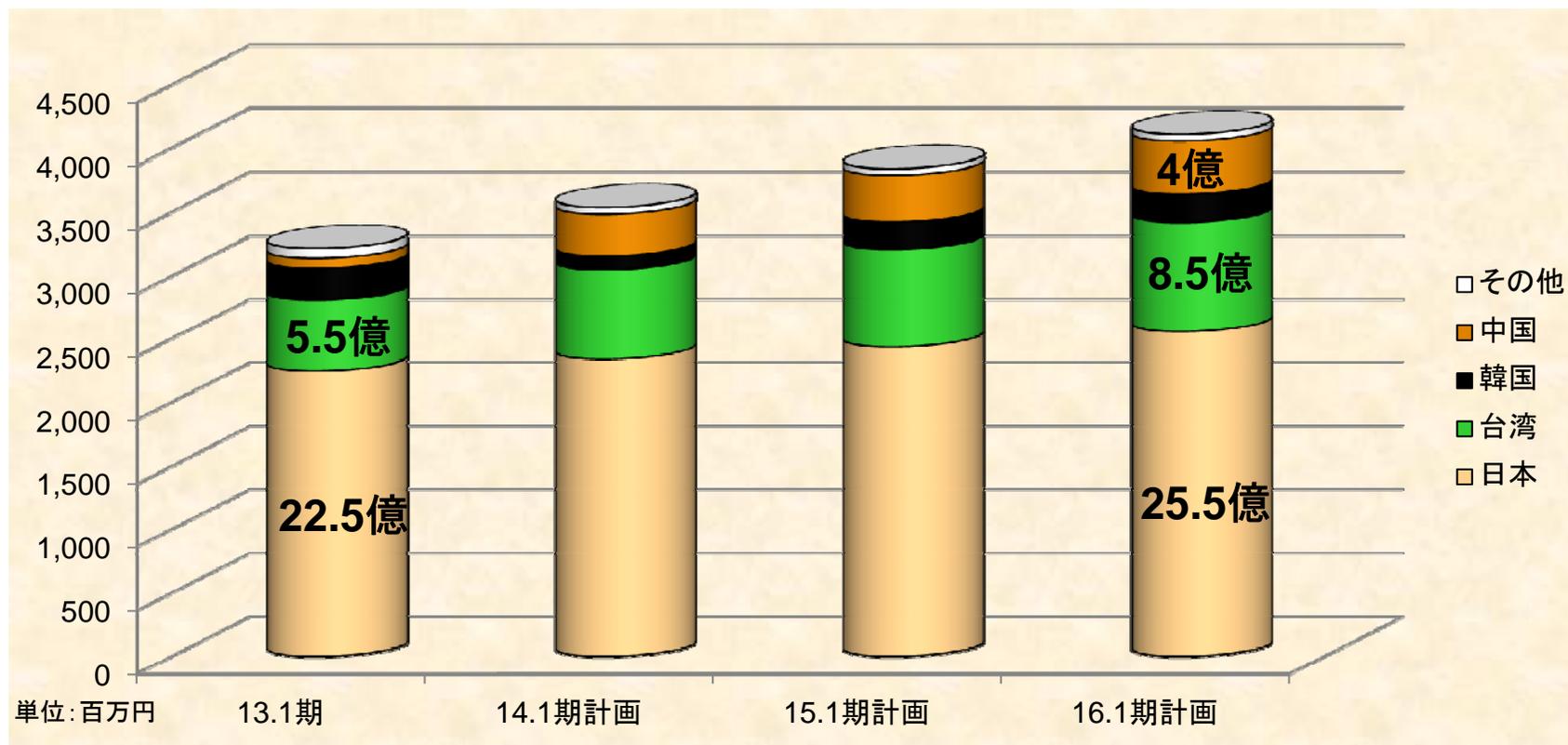
中期販売計画(製品用途別)



中期経営計画重点戦略:地域戦略

国内は太陽電池向け材料の拡販を中心に
海外は中国等東アジア中心に販売を拡大

中期販売計画(地域別)



中期経営計画：中長期的な成長に向けての体制構築

1.生産・研究・開発体制の強化

▶ 中長期的に利益を創出できる生産・研究・開発体制の確立

2.外部との連携強化

▶ 迅速な開発体制の維持・確立

3.販売先の裾野拡大

▶ 半導体・太陽電池向け等、事業の柱の複数化による
経営の安定化の推進

▶ 東アジア向け販売体制の確立

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。
あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことをあらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先 : homepageinfo2@trichemical.com